

# 多 久

TAKU



●入学式(多久市内学校 4/9)



●元気玉まつり(あいぱれっと 5/10)



## 議会だより

平成27年3月定例会

第24号

➤ 平成27年度一般会計予算 106億8,000万円

➤ 平成26年度補正予算 1億471万9,000円

➤ 情報課を新設

### 目次 contents

会期日程 ▶ P2

一般質問 ▶ P3

議案質疑 ▶ P7

委員会審査報告 ▶ P7

議員・委員会紹介 ▶ P11

活動報告・編集後記 ▶ P12

# 3月定例会

## 1 会期

平成27年3月市議会定例会は3月2日～3月18日まで（会期17日間）開かれました。

今回は8人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

また、市長から提出されました議案33件（条例等15件、予算18件）の議案について審議し、いずれも原案どおり可決されました。

## 2 主な議事日程

|        |              |
|--------|--------------|
| 3月2日   | 開会<br>提案理由説明 |
| 3～4日   | 議案研究         |
| 5～6・9日 | 一般質問<br>議案質疑 |
| 10～13日 | 委員会審査        |
| 18日    | 討論・採決        |

# 主な議案

## 3月定例会

### ★情報課を新たに設置

本年10月施行されるマイナンバー制度の導入活用及び、近年の情報機器や情報技術の発展、LINE、フェイスブック等の普及に伴い、情報施策について総合的・戦略的に推進するために「情報課」を新たに設置する。

LINE@

Twitter

Google+

Find us on Facebook

### ★保護者の負担軽減

放課後児童クラブの負担金について、同一世帯で2人目以降の児童について負担金の見直しを行いました。



平成27年度  
多久市一般会計予算  
106億8000万円

### ★総合政策策定事業

平成28年度～32年度の策定支援業務委託料  
500万円

### ★旧西部小学校整備事業

校舎を解体し、グラウンドと駐車場の整備を行う  
1億9500万円

### ★ふれあいバス・デマンドタクシー

運行経費  
2424万円

### ★子どもの医療費助成

0歳～高校生までの医療費を助成  
4323万円

### ★ふるさと応援寄付事業

寄付を促進するためのPR及び、特産返礼品経費  
638万円

平成26年度  
多久市一般会計補正予算(7号)  
1億471万9000円増額

### ★プレミアム商品券事業

夏の商戦時に発行される佐賀県発行の商品券を多久で消費してもらうために連動企画で福引抽選会を実施する。また、冬にプレミアム率20%の商品券を多久市で発行する。



### 陳情・要望等 4件

- ◆県営有料道路・厳木バイパスの無料化を求める意見書
- ◆平成27年度多久市商工業振興事業費補助金について（陳情）
- ◆地球社会建設決議に関する陳情書
- ◆多久市東多久町大字納所松瀬区県道沿い防犯灯設置に関する陳情書

# 一般質問

3月5・6日、8人の議員が一般質問に立ちました。掲載の一般質問は要点だけをまとめたものです。



国信 好永

## 地方創生について

**質問** 私は市会議員になった8年前から人口減少に歯止めを、急激な人口減少に歯止めを…と言いつつ来てました。我が多久市は都市圏より早く少子高齢化が始まり急激な人口減少が始まりました。日本政府は昨年、まち・ひと・しごと創生法案の概要を発表しました。我が多久市は地方創生で何を課題としていますか。その具体策をどのように考えていますか。

**答弁** 国はまち・ひと・しごと創生総合戦略において、人口減少の抑制や東京一極集中の是正に向けて、1つ目に地方における安定した雇用を創出する。2つ目に地方への新しい人の流れをつくる。3つ目に若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。4つ目に時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する具体的な施策が盛り込まれています。地方版総合戦略には地方の特性や資源を生かした住民に身近な施策を幅広く盛り込むこと。多久市に於いても4つの方向性を踏まえ雇用の場の創出、人口減少・高齢化・定住促進対策、若い世代の就労・結婚・子育て支援、地域課題の解決など、多久市が直面している人口ビジョン及び実情に応じた特色ある施策の推進に努めたい。



住宅団地

**質問** 多久市としての具体策が出ていません。どのようにして地方における安定した雇用を創出するか。どのようにして地方への新しい人の流れをつくらなければならないのか。

**答弁** 具体的にはこれから検討していく課題です。雇用の創出などは企業誘致を進めています。これから先の創業支援、販路拡大など地場産業育成も必要と思います。平成27年度から子育て・若者世代の定住奨励、空き家リフォーム補助金の制度拡充、子ども医療助成の対象年齢の拡大などのほか、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援が重要。あわせて保育料の軽減、放課後児童クラブの充実などの支援も行おうとしております。



平間 智治

## 地方総合戦略の推進で人口減少の歯止めと多久市創生を

**質問** 人口減少は、2050年には6割以上の地域で人口が半減し、2割で住民がいなくなると危惧されています。各自治体は、「地方総合戦略」、「長期ビジョン」を踏まえ、2015年度を初年度とする今後5か年の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策を策定するようになっていきますが、多久市まち・ひと・しごと創生本部設置の詳細は。

**答弁** この創生本部は、27年2月2日に設置し、市長を本部長、副市長を副本部長、また、本部長としては教育長及び全主管課長により組織をしております。作業内容は、総合戦略に盛り込む基本



目標と政策分野ごとの基本的方向性、具体的な施策の内容及び施策ごとの数値目標、重要業績評価指標などの設定等を行う。28年2月ごろまでに、「まち・ひと・しごと創生地方版総合戦略」を策定します。

**【その他の質問】**  
多久市人口ビジョンをどのように策定しますか。国は、2060年に1億人程度の人口を確保することを目標としています。多久市は、人口減少を歯止めするために、①出生率を上げるということ②東京一極集中の流れを止めることが大事だと思いますが取り組みなども質問しました。



飯守 康洋

地域活性化の核でもあった学校が廃校になって2年。西多久町での「まちづくり」に関して

### これからの取り組みについて

**質問** 学校跡施設・跡地について。

**答弁** 校舎、プールなどについては解体をし、駐車場、多目的グラウンドの整備などを行うという



方向で協議会として結論をいただきました。市としては、平成27年度にこれら解体、整備を行うために必要な予算を設計費、工事費として、27年度予算に計上しているところでは、

解体工事の内容については、校舎及び附属施設であるポンプ室と体育倉庫、またはプール、屋外トイレ等の解体を予定しているところでは、

今回の予算については、設計監理業務委託料、これは解体と、解体後の整備の工事を合わせてですが約1000万円程度、それから、解体工事の費用として8000万円程度の予算を計上しています。

なお、この解体に関する予算の財源については、国の社会資本整備総合交付金を予定しており、補助額として2984万9000円を見込んでいるところでは、

工期としては、5カ月程度を見込んでいます。

**質問** 地域資源・事業化支援アドバイザー事業について。

**答弁** 平成25年の地域資源・事業化支援アドバイザー事業を活用して、地域住民の皆さんとのワークショップを開催して、地域住民の意見を集約し、最終的にアドバイザーからは市指定文化財・森家住宅の活用、また、幡船の里、宝満山公園、くど造り民家の整備による一体的な活用、そして、域内農業の活性化。さらには市外への販売や特産品のブランド化などに関する提言がありました。



牛島 和廣

### 国民健康保険事業について

**質問** 国保事業に対して変化が見えてきたが、多久市の現状は。

**答弁** 国民健康保険に関する財政は全国的に赤字基調で大変厳しい状況です。多久市においても平成26年度に基金を使い果たして1億円を超える赤字となり、他市と同様繰上充用で対応をしております。国としても社会保障と税の一体改革を行い、平成27年度から消費税を財源とした市町村国保事業への国から財政支援の拡充が予定されており大きな支えとなっているのが現状です。

**質問** 国保事業の見直し(改善)は可能と思われるか。

**答弁** 国保制度の運営に関する国と地方の協議、

また県と市町の適切な役割分担の協議が必要であり、今後の制度移行に向けて制度の充実や改善など県への働きかけを努力しているところでは、

**質問** 繰上充用の財源確保はどうなるのか。

**答弁** 国からの財源支援の拡充や財政安定基金の造成などが考えられるが明確な支援策は示されていない状況であり、被保険者の皆様に一定程度の負担もやむを得ないかと考えられます。

### 玄海原発の防災訓練と危機管理について

**質問** 防災訓練での多久市の立ち位置はどうなっているのか。

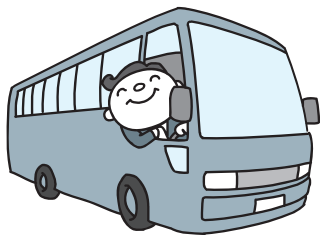
**答弁** 30km圏外における避難対策においては、現在防護措置実施の範囲や判断基準が検討されているところでは、原子力防災指針に反映された段階で本市の地域防災計画を見直したいと考えています。

**質問** PM2.5に対する環境整備については。



防災訓練

**答弁** PM2.5は極小の粒子であり、呼吸器・心臓・循環器系の疾患がある人は症状が悪化するリスクが高まるとの報告がある。行動を制約する基準については、1日の平均値70マイクログラムを超える場合、不要不急の外出や屋外での激しい運動を減らすなど自己防衛に努めてほしい。市としての特別な対策は国の機関と協議をして対応していきたいと思っています。



古賀 公彦

## 地域公共交通について

**質問** 多久市ふれあいバスは、平成17年10月より運行、昨年1月6日から新たに運行と路線が改正され路線と時刻表が変わった。同時に多久デマンドタクシーが新たに運行。ふれあいバスとデマンドタクシーの運行の現状は。

**答弁** ふれあいバス改正後、曜日交互運行の導入などが影響で改正前の利

用者を下回り改正前は毎月2300人、改正後1500人、昨年6月以降2000人と徐々に回復。デマンドタクシーは利用者が少ない状況、昨年4月以降は徐々に増加傾向だが9・4%にとどまっている。改善を図るため運行見直しを検討しています。

**質問** エリア区域利用者の小型車デマンドタクシー(乗り合いタクシー)運行利用者が少ない。周知はされているのか。

**答弁** 昨年の1月前から、各対象地区の行政区の説明会等や民生委員会などでPR、システム導入への全戸配布、また行政放送でのPRも行ってきた。今後、協議会の中でもPRをして努力していきたい。

**質問** 地域公共交通の課題は。

**答弁** 少子・高齢化、人口減少、マイカー普及など公共交通機関利用者が減少。特に高齢者の生活交通手段の確保、維持が課題で対応した見直しを

実施してきたが、今後とも日々運行状況について検証を行い改善に努める。

## 多久駅周辺のまちづくりについて

**質問** 多久市まちづくり協議会の各部会の協議内容。

**答弁** エリアマネジメント部会は、多久駅北口の未利用地、空き地の活用として、駅北側エリアのにぎわいづくりということで、社会実験で行い出した「マルゴシデッキ」を活用。中核施設部会では、新たなイベントを企画、実施するグループ体制づくり。まちなみ部会は、京町商店街、都通りのにぎわいづくりを検討。まちづくり交流センターの課題は。

**答弁** オープンして半年が経過し、まだまだ交流センターについては、周知が行き届いていない。今後は、さらなる利活用に向けて引き続き広報を強化していくことが必要。



興柵多津子

## 子ども医療費の無料化に向けた取り組みについて

**質問** 現在、多久市では子どもの医療費の助成が高校3年生まで拡大されてきましたが、問題は、小学1年生からは窓口で医療費の3割を払わなければならないことです。子どもが病気になるたときに、いつでも安心して

て病院にかかれるように窓口での支払いを無料にすることが子育て世代の応援になります。申請の手続きの簡素化や今後の窓口無料化・負担軽減への取り組みについての考えは。

**答弁** 制度の周知については該当者全員に通知文を郵送していますし、市報等での周知のほか医療機関等にポスターの掲示も行っています。申請の漏れの無いように更なる周知徹底を図ります。窓口無料化や負担軽減は現段階では特に考えてはいません。

## 国民健康保険制度について

**質問** 年金生活者や失業者など低所得者が多く加入する国民健康保険は、相当額の国庫負担なしには維持できません。国保財政の原則が壊されて、国が国庫負担を抑制し続けていることが問題です。多久市の国保基金が枯渇し、国保税の引き上げを検討する説明があつたが、今はすべきでない。標準世帯で、所得に対する保険税の割合はどのくらいか。

**答弁** 標準世帯夫婦40歳以上で子ども2人の4人世帯で所得が200万円、給与は約312万円の場合、保険課税額は38万6200円です。所得に対する比率からすると負担は大きいかもしれませんが、医療費の支出が多く致しかたないと考えます。

## 【その他の質問】

※公共下水道事業・農業集落排水事業・浄化槽の料金の統一化について。





中島 慶子

**賑わいの拠点施設「あいぱれっと」の現状は**

**質問** 入館状況は。

**答弁** 1日平均442人の利用の状況です。

**質問** 館内店舗への不満の声が多い。改善努力を。

**答弁** カフェのメニュー開発・接客・魅力向上に努め満足度を高める事業企画を行っています。

**質問** まちなかコンシエールジュの設置を。

**答弁** 市内・町店舗・イベント・観光案内ができる体制を進めていきます。

**政策改善提案をし、検討する旨の答弁後、どのような検討がなされ進捗状況は**

**質問** 職員駐車場利用料徴収について。

**答弁** 事業主が駐車場確



保の必要な地域と捉え、また福利厚生や通勤手当の抑制などを配慮し、徴収しておりません。

**質問** 市有施設の屋根貸し事業について。

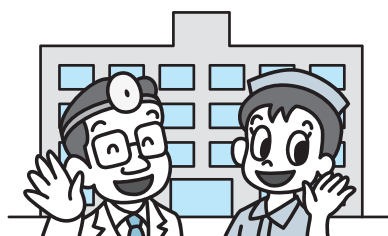
**答弁** 旧北部小体育館と中央小体育館の2施設が平成26年10月に業者決定し27年度に太陽光工事予定です。

**質問** 聖廟敷地内の東原庫舎と観光客を結ぶ事業は可能か。

**答弁** 宿泊型社会教育施設であり、観光誘致事業は直接行いませんが、東原庫舎事業と重ならないければ利用は可能です。

**質問** 市立病院診療科増設について。

**答弁** 4月より皮膚科を更には肝臓・腎臓内科も常勤医師確保で増設し充実が図れます。



**質問** ふるさと納税に地場産品返礼で納税向上を。

**答弁** インターネットの活用や、クレジット納付を導入し特産品の検討を4月からスタートします。

**質問** 西溪公園洋式トイレ数増と乳幼児対応の「おむつ交換台」設置を。

**答弁** 都市公園対策支援事業で検討していきます。



田渕 厚

**一人住まい・高齢者世帯を居住者図るコンパクトシティについて**

**質問** 中心市街地に居住者を増やし商業活動を活性化させ、公共サービスを効率化することで財政支出を削減するコンパクトシティが今、全国的に取り組む市町があるが多久市も取り組んではどうか。

**答弁** 市街地周辺の空き家利用は、そこに住むことに対する理解が必要で、また、中心部が集住化することで周辺の過疎化という問題出て来るとしています。医療機関と公共交通につきましては将来的にはコンパクトシティのまちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの再編について、国や県、事業者と連携し

ながら検討を行っていくたいと考えております。

**質問** 商店街・公共施設近くの空き家を利用し集住化また、医療機関利用者と訪問者と公共交通を活かした活性化の推進。

**答弁** 地域の中心にある学校跡地・跡施設を利用したコンパクトシティ構想はどうか。郊外大型商業施設とコンパクトシティについての検討はどうか。

**質問** 学校跡地・跡施設につきましては各校区の中心的位置にあることから、そこを利用して地域の人が必要とするサービスを提供できる拠点として整備し、周辺集落と公共交通機関や道路でネットワーク化することで、地域の課題解決するような施設とすることが考えられます。

**質問** 国立社会保障・人口問題研究所調査によると単独世帯が2010年度で1678万世帯、一般世帯数に占める割合は32・4% 夫婦のみの世帯は1027万世帯、一般世帯数に占める割合は

19・8%とある多久の現状はわかりますか。

**答弁** 多久市で65歳以上の一人暮らしの世帯は823世帯高齢者のみの世帯は776世帯となっています。

**質問** こうした数字を見ていて心配するのは高齢化社会が進んで生活を維持して行くことは大変だろうと思うのですが、何か対策は考えているのか。

**答弁** 平成27年2月現在で高齢化率は30・5%となっています。高齢化が進む中で、高齢者施策は急務と考えています。多久市は地域包括ケアシステム実現に向け、つながりネットワークで活動しています。



# 議案質疑



## 議案乙第1号

### 平成27年度多久市一般会計予算

#### 法定外データ整備業務委託料について

質問者 野北 悟

**質問** 里道や公有水面を書き込む基礎となる地図データは何を使用するのか。

**答弁** 航空写真及び字図を基礎ベースに市道、市河川、里道、公有水面を重ね合わせデータ化を行います。

**質問** 今後、市が管理する水道、下水道など様々な情報を一元化し管理する必要があると考えるが。

**答弁** 今後効果的な導入を図りたいと思います。

多久市一般会計当初予算民生費…生活困窮者自立支援に要する経費 771万7000円について

質問者 平間 智治

**質問** ①予算の詳細は。②それぞれの事業の詳細は。③委託先は。

**答弁** ①生活困窮者自立支援委託料として700万円、住居確保給付金として66万6000円、事務費等として5万1000円、合計771万7000円です。

## ②【生活困窮者自立相談支援事業】

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行う第2のセーフティーネットの構築が必要になり、平成27年4月1日から、生活困窮者の自立支援事業を行うことになりました。

### 【住居確保給付金の支給】

生活困窮者に対して家賃相当額を生活保護の生活扶助費の限度で原則3カ月間支給。

③委託先は、多久市社会福祉協議会です。



款 衛生費、項 保健衛生費、目 環境衛生費  
次世代自動車充電インフラ整備促進事業に要する経費について

質問者 飯守 康洋

**質問** 設置の背景、経過は。

**答弁** 平成25年7月に県の農林水産商工本部の新エネルギー課より多久市に来庁されて、本事業の説明をされております。公共施設に限って設置をしてほしい。特に203号線沿いに設備が不足するようであるということと設備の依頼がありました。平成26年度事業でお願いますということです。南多久公民館の駐車場のほうにするようにしております。

## 議案乙第44号

### 平成26年度多久市一般会計補正予算(第6号)

#### 魅力発信業務委託料について

質問者 野北 悟

**質問** Eiiio多久の評価検証は。

**答弁** 市外者への情報発信として有効な手段であり、観光放送として十分効果があった。

**質問** 事業を企画するにあたりコンペ方式などで募集を行ったか。

**答弁** 今回はエフエム佐賀との随意契約ですが今後、コンペ方式を採用していくことが必要なのかと考えています。

## 委員会審査報告

### 総務文教委員会

議案甲第1号…多久市課設置条例の一部を改正する条例

近年の情報機器や情報通信技術の発展、LINE、フェイスブック等のSNSの普及により、今後の市政運営においては情報化の推進や広報広聴の充実など、ICTの効率的な活用が重要となることや、本年10月に施行されるマイナンバー制度の導入・活用に向けての取り組みを効果的に推進し、さらなる市民サービスの向上を図るための

取り組みを充実することが必要であるため、情報施策について総合的・戦略的に推進するために、本年4月から「情報課」を設置するための条例改正です。なお、情報施策について総合的・戦略的に推進するとあるが、どのように進めるのか、マイナンバー制度導入により市民の利便性が向上するのはいつからか、また課の設置については、新設ばかりでなく廃止も考慮する必要があるのではなどの意見もありました。

議案甲第2号…多久市議会委員会条例の一部を改正する条例

「情報課」を加えるものです。

議案甲第3号…多久市行政手続条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例

本年4月1日から「行政手続法の一部を改正する法律」が施行されることに伴い、本市が制定している行政手続条例の一部を改正するものです。

議案甲第4号…多久市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

議案甲第5号…多久市各種委員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会委員長の職が廃止されることに伴い改正するものであり、また教育長の勤務条件を定める必要があるため、附則において「多久市教育長の諸給与条例」の一部を改正するものです。

**議案甲第6号…多久市職員給与条例の一部を改正する条例**

昨年の佐賀県人事委員会勧告に盛り込まれた給与制度の総合的見直しを行うものです。

**議案甲第7号…多久市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例**

**議案甲第9号…多久市放課後児童健全育成事業負担金徴収条例の一部を改正する条例**

同一世帯で2人目以降の児童について保護者の負担軽減を図るため、負担金について見直しを行うものです。

**議案甲第10号…多久市水道企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例**

職務に応じた給与配分等の課題に対応するために管理職員特別勤務手当を改正するものです。

**議案甲第11号…多久市職員の配偶者同行休業に関する条例**

**議案甲第12号…多久市過疎地域自立促進計画の変更について**

今回の変更事業は、商店街街路灯LED化事業補助、防災行政無線機器更新事業、広域クリーンセンター建設事業、子ども・子育てセンター整備事業、病棟・診療棟空調設備改修事業、まちづくり活動支援補助事業の6事業です。なお、過疎地域自立促進特別措置法は、平成32年度で終了予定であるため、年次計画を立て取り組んでもらいたいなどの意見がありました。

以上、11議案について、原案どおり承認することに決定しました。

**産業厚生委員会**

**議案甲第8号…多久市保育の実施に関する条例を廃止する条例**

保育の実施について、これまでは児童福祉法第24条第1項の規定により、当条例で保育に欠ける要件が定められていましたが、平成27年度から始まる新制度では、子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律により児童福祉法が改正され、子ども・子育て支援法施行規則で定めることとなるため、当条例を廃止するものです。

**議案甲第13号…市道路線の廃止について**

市道の廃止（5路線、延長1972・1m）を行うものです。具体的には、後野線路線見直しによる廃止路線として、延長406・5m及び接道してあります瓦川内後野線延長913・1m。また、多久駅周辺土地区画整理事業に伴う路線見直しによる廃止路線として、多久駅前線延長29・5m。さらに、県営中山間地域総合整備事業（圃場整備）に伴う路線廃止として、多久原中多久線延長488・5m及び両の原線延長134・5mです。

**議案甲第14号…市道路線の認定について**

市道の認定（5路線、1583・4m）を行うものです。具体的には、後野線路線見直しによる認定として、延長305・1m及び接道してあります瓦川内後野線延長923・1m。住宅政策に伴う路線認定として、天徳3号線延長80・0m。また、県営中山間地域総合整備事業（圃場整備）に伴う路線認定として、多久原中多久線延長53・2m。さらに、都市計画事業（多久市定住促進住宅団地中央公園東）による新規認定路線として、浦山団地線延長222・0mです。このことにより、市道1972・1mの路線廃止と1583・4mの路線認定により、市全体の路線は692路線となり、総延長は32万4503・7mとなります。

**議案甲第15号…多久市国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例**

本年4月から多久市立病院の診療科目に皮膚科を新設するため、当条例の一部を改正するものです。

以上、4議案について、原案どおり承認することに決定しました。

**予算特別委員会**

**議案乙第1号…平成27年度多久市一般会計予算**

歳入歳出の総額を106億8000万円とし、前年度当初予算と比較して、7億9000万円、6・9%の減

となっております。

まず、歳入予算の主なものは

|       |               |
|-------|---------------|
| 市税    | 17億7232万4000円 |
| 地方交付税 | 40億円          |
| 国庫支出金 | 15億4090万3000円 |
| 県支出金  | 8億1603万7000円  |
| 繰入金   | 6億9876万1000円  |
| 市債    | 7億5700万円      |

歳出予算では、まず総務費関係で、充実を図った定住奨励事業、旧西部小学校整備事業、地域おこし人材活用事業の新規事業等。

次に民生費ですが、前年度から国が引き続き行う、臨時福祉給付金支給事業、子育て世帯臨時特例給付金支給事業、平成26年4月から高校生まで対象を拡充した子どもの医療費助成事業にかかる経費、本年4月からの生活困窮者自立支援法施行に伴い、一人ひとりの状況に応じた相談支援を行う、生活困窮者自立支援事業、被保護者就労支援事業等。

衛生費では、健康増進事業として、一般健診及び各種がん及び女性特有がん検診の受診率向上のための事業、母子保健事業では、親の子育て不安や困り感を軽減するための健診後の相談事業等。

農林業費では、高速道路に架かる跨道橋の調査点検、農村地域防災減災事業としてのため池耐震調査等の新規事業、また、有害鳥獣対策支援、中山間

地域等直接支払交付金、中山間地域総合整備事業、基盤整備促進事業、国営筑後川下流土地改良事業の附帯事業、多面的機能支払交付金、森林環境保全整備事業等。

商工費では、商店街街路灯のLED化事業に対する補助金。また、まちづくり交流センター管理運営費、まちづくり活動推進事業、インフォメーションシステムの改修及びブランド認定事業に取り組み観光振興プロジェクト事業等。

土木費では、都市公園長寿命化計画に基づく、都市公園施設・遊具の改修事業と、土地区画整理事業区域に隣接する道路整備を社会資本整備交付金事業による新規事業として計上、また、市道橋長寿命化事業、多久駅前無電柱化整備事業等。

消防費では、消防団員確保対策事業、耐震性貯水槽整備、防災無線機器更新経費等。

教育費では、ICT支援員配置事業、スクールサポーター配置事業、スクールカウンセラー事業、スクールバスの運行経費、小中学校建築非構造部材耐震化事業、体育センター耐震診断及び耐震補強計画策定経費等であります。

審査の過程で、例規集の紙媒体追録については、将来的には廃止を検討してはどうか。

学校跡地・跡施設対策について、残る小学校の早期有効利用ができるよう、施策が必要ではないか。

う、実施が必要ではないか。スクールバス運行事業については、より安全面に配慮されるよう要望等がありました。

有害鳥獣駆除対策の強化取り組みについては、カラスや猪の他に、近年岸川地区等で多くなっている猿の被害対策で、より効果的な対策は考えられないか。また、多久駅前中核施設あいぱれつとの今後の運営等についての意見がありました。

議案乙第2号：平成27年度多久市給与管理・物品調達特別会計予算

議案乙第3号：平成27年度多久市土地区画整理事業特別会計予算

議案乙第4号：平成27年度多久市公共下水道事業特別会計予算

議案乙第5号：平成27年度多久市農業集落排水事業特別会計予算

議案乙第6号：平成27年度多久市宅地造成事業特別会計予算

議案乙第7号：平成27年度多久市国民健康保険事業特別会計予算

国民健康保険事業の財政は全国的に赤字基調の大変厳しい状況にあり、多久市においても平成26年度は1億円を超える赤字を見込まれています。

国では平成27年度から消費税を財源とした市町村国保への支援など、国からの財政支援の拡充が予定されています。

市としても、今後都道府県の統一化における制度の充実、改善に向け国への働きかけを強固に進める必要があるとの意見がありました。

議案乙第8号：平成27年度多久市後期高齢者医療特別会計予算

以上、7議案についても原案どおり承認することに決定しました。

います。予算第3条の収益的収支の総額は、15億5358万6000円

議案乙第9号：平成27年度多久市水道事業会計予算

収入総額 1億4519万7000円

水道事業の概要につきましては、給水戸数7600戸、年間給水量167万m<sup>3</sup>、一日平均給水量4575m<sup>3</sup>を計画されており。

支出総額 1億9429万8000円

予算第3条の収益的収支の総額は、6億1212万1000円

収入総額 1億2000万円

予算第4条の資本的収支は、収入総額 2億7195万円

支出総額 3億1117万2000円

なお、収入額が支出額に対して不足する額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で補填されることになっています。

補正額は、3億1117万2000円の減額で、補正後の歳入歳出総額は、114億4426万8000円となります。

審査の過程で、石綿管更新事業の今後の計画について質問があり、石綿管が約6km残っているため、毎年度1km程度更新し、6年間で完了する予定です。

議案乙第10号：平成27年度多久市病院事業会計予算

予算第2条の業務の予定量は、延べ入院患者数2万8548人（1日当り78人）、延べ外来患者数4万4712人（1日当り184人）を予定されています。

議案乙第11号：平成26年度多久市一般会計補正予算（第7号）

本議案は、事業費の確定及び執行見込みによる減額補正が主な内容となっております。

議案乙第12号：平成26年度多久市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）

議案乙第13号：平成26年度多久市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案乙第14号：平成26年度多久市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

議案乙第15号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第16号：平成26年度多久市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

議案乙第17号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第18号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第19号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第20号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第21号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第22号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第23号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

議案乙第24号：平成26年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

号)

議案乙第17号…平成26年度多久市病院  
事業会計補正予算(第3号)

議案乙第18号…平成26年度多久市一般  
会計補正予算(第8号)

本議案は、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に伴う補正であります。

補正額は、1億471万9000円の増額で、補正後の歳入歳出総額は15億4898万7000円となります。

地域住民生活等緊急支援交付金事業のうち、地域消費喚起・生活支援型では、プレミアム商品券事業及び住宅リフォーム喚起事業。

地方創生先行型では、多久市総合戦略策定事業、移住プロモーション事業、たく魅力発信事業、子育て拠点づくり事業、たくたびプロモーション事業、たく産販路拡大事業、街なか元氣プロジェクト事業の予算を計上されております。

以上、18議案について、原案どおり承認することに決定しました。

## 議会等行財政改革特別委員会

平成27年2月までに9回の委員会を開催し、費用弁償、政務調査費、議員報酬、議会報告会等について審議しました。

費用弁償については、政務調査費に

変えられないかとの意見もありましたが、費用弁償については今後も継続して行くことにいたしました。

政務調査費については、当時県内においても多くの市議会が導入し、議員活動を活発にされています。本委員会としても導入を検討しましたが、今回見送ることに決定しました。

議員報酬については、特別職報酬等審議会で審議されるため、今回は審議会の判断に任せることにしました。

議会報告会については、平成23年3月に議会基本条例を制定し、その条例中に年1回以上の報告会を実施することとしております。平成23年10月3日に第1回目を開催し、平成26年までに4回多久市内5町の公民館及び納所会館で開催しました。今後、報告会への参加者を増やすのが課題だと思います。

## 都市再生定住促進対策特別委員会

4年間の審査経過をまとめましたので報告します。

まず、多久駅前周辺の中核施設、多久市まちづくり交流センター「あいばれっと」の建設・運営について、積極的な協議の場を設け、建物の構造や店舗形成、施設運営などについて議論、提案を行ってきたところです。

人口減少が著しい中で、いかにして人を集め、賑わいのあるまちづくりを行うのかは、今後の大きな課題であり、

健全な施設運営と集客のための企画力を「一般社団法人 たく21」に大いに期待するところで、議会としても引き続き協議の場を設けていきたいと考えます。

平成26年度には、①学校跡地跡施設利活用について②多久市中央公園東団地造成地について③多久市まちづくり交流センターについての3点について、執行部からの現状報告及び現地視察を行い協議してまいりました。

また、定住促進策の面では、平成27年度以降の定住奨励金制度の見直しが執行部より提案され、協議を行ってきたところです。当委員会でもUターン組など高齢者の転入支援策の必要性や制度のPR強化などを提案してきました。

その他の定住促進策として中央公園東に定住促進住宅団地の造成が行われ、いよいよ今年5月より分譲開始になります。

今後の課題、取り組みについて各委員からは、京町商店街などのシャッター通りへの費用対効果のある活性化策やその取り組みの方向性をどうすべきか又、旧緑が丘小学校などの学校跡地・跡施設の利活用について地元からの意見、要望を聞きながら、行政側の更なる努力と早急な実現を望むことや、オープン後の多久市まちづくり交流センター「あいばれっと」の現状、今後の展望等を委員会で説明してもら

いたい、更にはハロー跡地について地域再生の上でも、今後の利活用案等についての説明を聞きたいとの意見がありました。

多久市には、今年2月に、少子化と人口減少を克服するため、市長を本部長とする「多久市まち・ひと・しごと創生本部」が設置されたところで、人口増、地域活性化策について、市の重要施策として更なる取り組みをお願いしたいと思います。

## 議会運営委員会報告

### 決定事項

①議員定数を含めた議会改革については、議会運営委員会で検討を行った後に全員協議会で協議をする。

②特別委員会については、人口減少、地方創生、クリーンセンター周辺整備を含めた遊休地の利用について、6月定例会会期中に設置する。

### 報告事項

無投票により、選挙公報が発行されませんでした。その代替策で選挙ハガキを出さずに経費を削減し(13人に協力いただき130万円の経費減)議会報で代わりのものを掲載する予定でしたが、7月号の市報にて対応します。

# 多久市議会 議員紹介



中島 慶子  
(西の原)



田中 英行  
(砂原)



國信 好永  
(別府一区)



服部 奈津美  
(牟田辺)



野北 悟  
(中多久団地二区)



野口 義光  
(山犬原)



飯守 康洋  
(藤川内)



山本 茂雄  
(筋原)



牛島 和廣  
(多久原)



平間 智治  
(平和町)



古賀 公彦  
(西町)



角田 一彦  
(西山)



田 渕 厚  
(大畑)



中島 國孝  
(下鶴)



香月 正則  
(泉町)



樺島 永二郎  
(仁位所)

## 多久市議会 委員会委員名簿

平成27年5月12日現在

| 委員会名    | 氏名 (◎委員長 ○副委員長)                                                                          |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総務文教委員会 | ◎田 渕 厚<br>田 中 英 行<br>樺 島 永 二 郎<br>○古 賀 公 彦<br>中 島 國 孝<br>山 本 茂 雄<br>牛 島 和 廣<br>野 北 悟     |
| 産業厚生委員会 | ◎平 間 智 治<br>中 島 慶 子<br>服 部 奈 津 美<br>○野 口 義 光<br>國 信 好 永<br>飯 守 康 洋<br>角 田 一 彦<br>香 月 正 則 |
| 議会広報委員会 | ◎香 月 正 則<br>田 渕 厚<br>○野 口 義 光<br>樺 島 永 二 郎<br>野 北 悟<br>服 部 奈 津 美                         |
| 議会運営委員会 | ◎野 北 悟<br>平 間 智 治<br>○中 島 慶 子<br>香 月 正 則<br>中 島 國 孝<br>田 渕 厚                             |

## 議決結果

3月定例会での全議案は、全員一致で原案可決されました。



# 議会活動報告



当選証書付与式 (4/27・多久市役所)



納所交流センター「くつろぎ」開所式 (4/4・旧納所小学校)



広報委員会視察 (2/12・嬉野市議会)



春の萩菜 (4/18・多久聖廟)

## 議長交際費 (H27年1～3月)

(単位:円)

| 種別  | 区分  | 件数 | 金額      |
|-----|-----|----|---------|
| 弔慰  | 当回分 | 0  | 0       |
|     | 累計  | 2  | 6,000   |
| 見舞い | 当回分 | 0  | 0       |
|     | 累計  | 0  | 0       |
| 御祝  | 当回分 | 1  | 10,000  |
|     | 累計  | 7  | 55,470  |
| 賛助  | 当回分 | 0  | 0       |
|     | 累計  | 0  | 0       |
| 激励金 | 当回分 | 0  | 0       |
|     | 累計  | 0  | 0       |
| 接遇  | 当回分 | 0  | 0       |
|     | 累計  | 1  | 3,120   |
| 会費  | 当回分 | 2  | 9,000   |
|     | 累計  | 6  | 35,000  |
| その他 | 当回分 | 2  | 7,070   |
|     | 累計  | 3  | 10,740  |
| 計   | 当回分 | 5  | 26,070  |
|     | 累計  | 19 | 110,330 |

(累計はH26年4月～H27年3月)



## 議会のはなし

### 常任委員会(本会議の下審査機関)について



常任委員会の名称、委員の定数及びその所管は、次のとおりです。

#### (1) 総務文教委員会 8人

ア 総合政策課、総務課、防災安全課、財政課、税務課、会計課、監査委員、選挙管理委員会及び教育委員会の所管に属する事項

イ 他の委員会の所管に属しない事項

#### (2) 産業厚生委員会 8人

市民生活課、広域クリーンセンター推進課、福祉課、健康増進課、人権・同和対策課、農林課、商工観光課、建設課、都市計画課、市立病院、農業委員会及び水道課の所管に属する事項

## 議会広報委員会



委員長 野口 正則  
副委員長 野口 義光  
委員 野口 智治  
委員 田淵 興  
委員 平間 智  
委員 野北 悟  
委員 厚津子

## 編集後記

今回の定例議会で、「情報課」の設置が決まりました。市政運営の情報化の推進並びに効率化をするためですが、まずは今年導入される「マイナンバー制度」に向けての取り組みが主になると思っています。

マイナンバーは、住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもので、有効な市民生活の社会基盤になればと思っています。(野口)